



若竹だよい



【私たちの願い】

- ① よろこんで与える人間となろう ② いのちを大切にする人間となろう
③ こころ静かに考える人間となろう ④ 使命に生きる人間となろう ⑤ 規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業

① 四国八十八ヵ所巡礼者無料宿泊＆お接待

② 講演会・シンポジウム

【巻頭言】 児童福祉施設指導監査

園長 宮脇 景子

10月22日に香川県子ども家庭課・地域連携支援室から職員の方が来園し、定期監査を受けました。

監査は経理や管理体制は当然のことながら子どもたちの支援や健康、栄養など当園の支援体制を書類や口頭説明をしながら確認していただきます。子どもたちの支援方法はもちろん、書類作成や管理方法などは、施設によって異なるので、何が正解なのか分からないことも多いのが正直な気持ちです。当園としては、監査は成長できる機会として捉え、監査官にありのままを見ていただいて、様々なご指摘、ご助言を今後の施設運営、支援体制に活かしていきたいと考えています。

監査の準備のため書類の確認作業をしている中で以前の資料をたくさん目にしましたが、ここ数年間の書類を見返してみると大きな変化を感じました。特に子どもの権利や権利擁護という言葉が書類に数多く記載されていました。当園では今年度よりアドボカシー事業の導入を始め、定着するまでにまだ時間がかかりそうですが、大きな一歩を踏み出したような思いです。子どもの声、特に声なき声を少しでも聞けるような環境を整備していくために考えていかないといけないとこの監査を通して感じました。

子どもたちには、安心、安全な生活環境の中で、夢や希望をもって前向きな人生を送ってほしいと思っています。私たち職員は現状に満足せず、日々進化し続けていけるように努めていきます。

秋を見つけに行こう

10月14日はスポーツの日でした。その祝日に合わせて秋のピクニックをしました。当園から休暇村讃岐五色台まで約7キロ、時間にして約2～3時間かかりますが、秋を感じながらみんなで歩いていく計画を立てました。

しっかりと準備運動をした後、スタートをすると元気いっぱい子どもたちは勢いよく走り出しました。徐々にペースがゆっくりになっていくと道端の松ぼっくりやドングリ、紅葉や絶景などに目が向き、五色台の秋を感じながら歩くことができました。

誰も途中リタイアすることなく、ゴールの休暇村讃岐五色台に到着することができました。歩ききった達成感は子どもたちにとって大きな自信になったと思います。帰りはほとんどの子どもたちは車で帰りましたが、「帰りも歩きたい」と希望した子どもたちは男性職員と一緒に帰りも歩きました。天気の良い日に秋を感じながらのピクニック後の昼食はいつも以上に食べ、笑顔でいっぱいでした。





10月6日に琴平町の金刀比羅宮で行われた第56回こんぴら石段マラソンに参加しました。

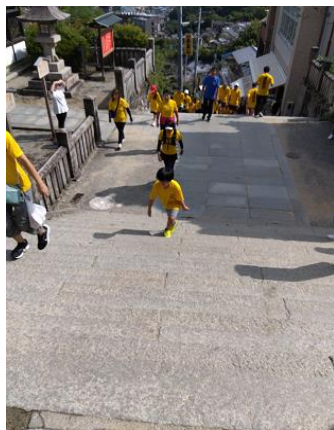
このマラソンは、金陵の郷から出発して金刀比羅宮御本宮まで行き、折り返して帰って来るコースで競うマラソンで、本宮まで続く785段の階段を駆け上り、そしてすぐに駆け降りするという過酷なマラソンです。

参加賞の黄色いTシャツを全員着用してスタートをすると一斉に走り出しました。何度も諦めそうになりましたが、子どもたちは決して歩みを止めることなく、全員無事完走することができました。

無事完走すると、ソフトクリームなどの割引券や金毘羅宮の交通安全お守りなどをいただけました。競技後に割引券を使ってソフトクリームやジュース、うどんを食べました。また、金刀比羅にある足湯に浸かり、疲れた足を癒しました。

子どもたちは、「めっちゃ疲れた」、「もう歩けん」など疲労を口にする一方で、「みんな頑張ったよね」、「みんなゴールできてよかったよね」と頑張りを称え合ったり、達成感を味わうことができていました。

今回、初めてこのマラソンに参加しましたが、完走できるのか正直不安でした。ただ、子どもたちの諦めない強い気持ちを感じることができ、参加して良かったと思います。来年はぜひ全員の子どもたちが参加できるようにしたいです。



魚釣り

10月13日に坂出の漁港で穴釣りをしました。今年度に入って初めての釣りだったため、子どもたちはとても楽しみにしていました。何度も穴釣り経験のある子どもが初体験の子どもに釣り方を教える場面があり、思い合える、助け合う気持ちに心温まりました。

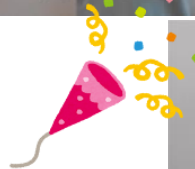
子どもたちは恐る恐るゴカイを針に付けて糸を垂らし、まだかまだかと期待しながら待っていました。始めは魚が餌に食いつくと待てずにそのまま引き上げてしまい、逃がしてしまう子も多かったですが、回数を重ねていくうちに上手にタイミングを図っていました。カサゴやハコフグなどの魚が釣れ、子どもたちは大変喜んでいました。



10月のハッピーバースデー

10月は中学2年生の男の子と中学3年生の女の子2人の計3人が誕生日を迎えました。

子どもたちが考えた誕生日メニューはグラタンやパスタ、ドリアで、洋風のメニューを選んでいました。また、子どもたちと一緒に作った手作りケーキも準備をしました。1人の子どもに1年の抱負を聞くと照れ臭そうに「受験に合格したい」とのことでした。3人とも良い1年になることを心から願っています。



フィルハーモニー交響楽団公演会

10 月 19 日に瀬戸内海国立公園指定 90 周年事業・瀬戸フィルハーモニー交響楽団の公演会に行ってきました。

早めに到着する予定で出発しましたが、到着すると会場は開演を待つ人ですでに大行列でした。どこに並べば良いのか分からず困っている人に対して子どもが「この後ろですよ」と教えてあげていた場面があり、感心しました。

開園後は美しい音色を熱心に聴き入り、目を丸くしている子どももいました。残念ながら写真は無いですが、また機会があればぜひ聴きに行きたいと思います。



秋の味覚



先月に栗を拾いに子どもたちと出かけて、たくさんの栗を当園に持ち帰りました。そして、子どもたちと一緒に栗剥きをしました。

最初は「面倒くさい」、「えー、無理」と否定的な言葉を発していましたが、試しに 1 個剥いてみると楽しかったようで次々と剥いてくれました。中には職員の剥いた栗を「もっと綺麗に剥いた方がええで」と剥き直してくれる子どももいました。

この栗は、栗ご飯や栗を使ったデザートやおやつに使おうと考えています。食欲の秋を楽しめるように色々工夫しながら子どもたちの心も満たしていきたいと思います。



10 月行事

10 月 6 日	金毘羅マラソン
10 月 13 日	魚釣り
10 月 14 日	ピクニック(秋を見つけに行こう)
10 月 15 日	ケーキ作り
10 月 18 日	防災総合訓練
10 月 19 日	瀬戸内フィルハーモニー
10 月 22 日	監査



在籍人数

令和 6 年 11 月 1 日現在

区 分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	5	0	5
中学生	6	2	8
合計	11	2	13



編集後記

朝と夜の気温が低くなり、すっかり肌寒くなりました。子どもたちも衣類購入などを終え、冬服を着る日が増えています。季節の変わり目には体調を崩しやすくなるので、子どもたちはもちろん、私自身も体調に気を付けて過ごしていきたいと思います。

今年も早いものであと 2 か月を切ってしまいました。今年を振り返って良い年だったと言えるように最後まで精いっぱい子どもたちのために頑張りたいと思います。(川田)

第 451 発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

E メール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮脇 景子



五色台分校だより

【 身だしなみ教室 】

小学校・中学校に分かれて養護の先生から身だしなみ教室が開かれました。

身体の変化に合わせた下着の選び方や下着のつけ方などの話をしました。

ワークシートを手に、どの児童・生徒も真面目に話を聞いていました。



【工作活動】

小学校では、今、工作活動に熱心に取り組んでいます。センサリーボトル、カラーライス、ハンコづくりなど、様々な作品ができています。

児童たちは毎時間、とても楽しそうに活動を行いました。



【 始業式 】

2学期を迎えるにあたって、始業式で副校長先生、岡本先生から、「学校生活をよりよく過ごしていくにはどうしたらいいのか」「なぜ勉強するのか」「なぜ学校に行くのか」といった内容の話がありました。

児童・生徒たちも姿勢を正して、真剣に話を聞いていました。

